

# 医療連携だより

第23号 平成28年8月

発行  
越谷市立病院  
医療連携室  
越谷市東越谷 10-47-1  
電話 048-965-2221  
(内線 3135、3114)  
FAX 048-965-5222

## 外科部長就任にあたって



越谷市立病院  
外科部長  
行方浩二

この度4月1日付で前任の松本文夫先生の後任として外科部長の任を拝命いたしました。前任の松本文夫先生の実力にはまだまだ到達できませんが、外科全員の力でこの穴を埋めていこうと思っています。

それでは、現在の各疾患に対する治療法などを紹介いたします。

### (1) 消化器疾患

#### ①食道がん、胃がん、大腸がん

現在消化器分野での内視鏡治療、腹腔鏡手術の進歩はめざましいものがあります。現在は早期食道がん、胃がん、早期大腸がんに対する内視鏡治療の主流となっている治療法に内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)があります。当科では、食道がん、胃がん、大腸がんにおいて早期と判断した場合は再度精査内視鏡を行います。その結果 ESD の適応と判断した場合は食道がん、胃がん、大腸がん ESD 治療を行います。検査後病理検査を行い追加治療で手術が必要な場合に腹腔鏡手術を中心に治療法の選択を行っています。進行例に対しては手術を第一選択として治療を行います。

#### ②肝胆膵がん

開腹手術を中心に治療を行っています。手術適応の無い症例でも減黄処置のステント挿入などを行っています。

#### ③胆石症、虫垂炎など

第一選択として腹腔鏡手術を行っています。胆石症、虫垂炎また消化管穿孔で手術が必要と判断された症例は医療連携はもちろん可能な限り当日診察も行います。月曜から金曜日まで消化器疾患に対応できる医師が外来診療を行っています(夜間でもオンコール体制をとっていますので対応は可能です)。

### (2) 乳腺疾患

乳房のしこりの自覚や痛み、違和感など一度精査を必要と判断されましたらご紹介下さい。月、火、水曜日には乳腺専門医が対応します。月曜日には乳がんのセカンドオピニオンも行います。良悪性の診断に難渋する症例にはマンモトーム生検(針生検より検体量が確実に多く採取できます)を行い術前診断をより確実にを行っています。手術ではアイソトープ法併用のセンチネルリンパ節生検を行い不必要なリンパ節郭清を省略しています。乳がん術後再発、骨転移などへの放射線治療も放射線科と相談し対応いたします。

### (3) 鼠径ヘルニア

鼠径ヘルニアに対しても患者様のご希望があれば腹腔鏡手術で行っています。

### (4) その他

痔核疾患などでも対応します。

外科は、これまでと同様に越谷市医師会並びに近隣医療機関の先生方のご指導とご協力を頂き診療を行っていきたくと思います。

また、細分化が進んでいますが、日常よく遭遇する外科疾患や緊急手術例には対応できるようにスキルアップを図ってまいります。

今後も宜しく願いいたします。



#### 【診療体制】

科部長

がん化学療法センター長

手術室長

医 長

医 師

医 師

医 師

(常勤医師)

行方 浩二

三浦 弘善

武井 雅彦

松森 聖

水越 幸輔

嶋津 藍

辻 未来

(専門分野)

乳腺外科、肝・胆・膵外科、内視鏡手術

乳腺外科、消化器外科、一般外科

肝・胆・膵外科、内視鏡手術

消化器外科

消化器外科

外科全般

外科全般

#### (非常勤医師)

医 師

津村 秀憲

松本 文夫

市川 悠子 (乳腺専門医)

#### 外来担当表

外科	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1 診	松本	武井	市川	津村	松森
2 診	水越	三浦	行方	嶋津	交代性
初診	水越	交代性	行方等	嶋津	交代性

月曜日午後：乳がん検診（予約制）、乳がんセカンドオピニオン外来（予約制）

#### 【救急対応】

日中帯は外来救急外来で対応します。夜間も外科当直医が対応します。

## 循環器科外来よりお知らせ

肺高血圧症外来の診療日が、9月より第2・4木曜日から第2・4火曜日に変更となりました。予約の際はご注意ください。

また、診療場所は泌尿器科外来にて行いますので、大変ご迷惑をおかけいたしますがご理解のほどよろしくお願いいたします。

なお、受付は完全予約制ですので、病診連携のFAX予約又はWeb予約をご利用ください。

**肺高血圧症の診療日：第2・4火曜日の午後 ※完全予約制です。**

## 「地域医療連携システム」の利用がスタートしました

当院では、地域医療連携の新たな発展を期するため、インターネットを利用した「地域医療連携システム」を導入し、各医療機関の先生方へご案内させていただきました。

お申し込みいただいております医療機関の先生方には、アカウント・パスワードを発送し、7月よりご利用いただいているところでございます。

なお、アカウント・パスワードが届いていない医療機関の先生方への発送は、順次進めておりますのでしばらくお待ちください。よろしくお願いいたします。

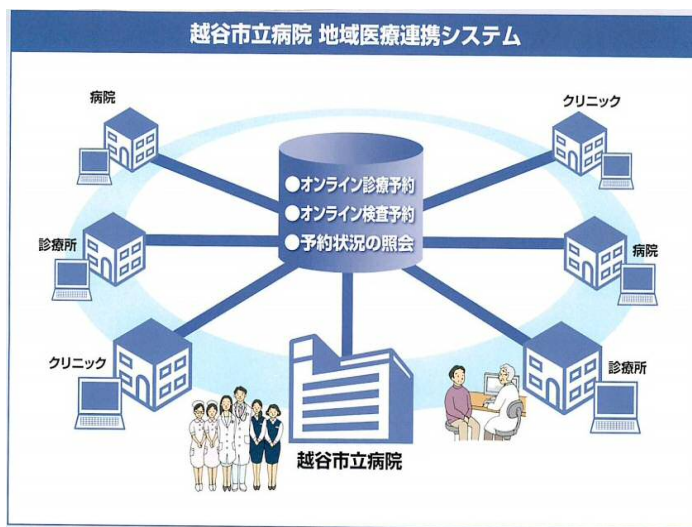
### 1 地域医療連携システムについて

医療機関間の機能分化を進め、紹介に基づく診療や検査について、FAXを利用した病診連携予約を行っています。「地域医療連携システム」は、FAX予約だけでなくインターネットを利用した診療予約・検査予約を24時間簡単に確実に予約できるシステムです。

### 2 医療連携証の発行について

地域医療機関の先生方と当院との医療連携協力機関である証として「医療連携証」を希望する医療機関に発行しています。

※1・2とも随時受け付けしておりますので、ぜひお申込みください。

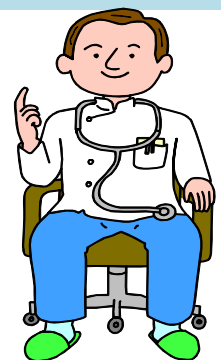


## セカンドオピニオン外来は「完全予約制」です

セカンドオピニオン外来は、他の医療機関で治療を受けている方の診断や治療方法について、当院の医師が意見を提供し、患者様がより良い治療方法を選択できるよう支援するものです。なお、セカンドオピニオン外来では、新たな検査・治療は行いませんので、各診療科外来での受診はできません。受診には、事前の申込み・予約が必要ですので、希望される患者様がございましたら、まずは医療連携室へ患者様からご連絡するようお願いください。

### 【受付方法等について】

- ・受付等につきましては、病診予約と同様に医療連携室が行っています。
- ・詳しくは、越谷市立病院ホームページ「セカンドオピニオン外来」をご覧ください。
- ・お問い合わせは、医療連携室（TEL048-965-4549）までご連絡ください。



## CTの新機種導入について

平成28年7月末、当院にCTの新機種”Aquilion ONE ViSION Edition”が導入されました。

本装置はADCT（Area Detector CT：エリアディテクターCT）と云われるカテゴリーの機種になります。当院既存のCTは、MSCT（Multi Slice CT：マルチスライスCT）と云われ1回転で約4cm弱の幅（128列）を撮影できる装置ですが、導入された新CT装置は1回転で16cm（320列）の幅を



撮影することが出来ます。16cm以下である脳や心臓、乳幼児の胸部または腹部などでは1回転（0.275秒）で全範囲をスキャン可能となります。これは短時間に撮影できるだけでなく、体軸方向に同一時相の画像が得られ、画像の精度が向上します。

また、1回転0.275秒の短時間で撮影できるため、X線被ばく量や造影剤の使用量も低減できます。特に小児、高齢者や救急患者さんなど体動や呼吸を止められない患者さんに対して影響を受けにくい検査ができます。

さらに、AIDR 3Dというソフトウェアが搭載されており、最大75%の被ばく線量低減が可能です。また、今までCTが苦手としていた体内金属（人工関節、コイル、クリップ、義歯など）も画像再構成技術の進歩（SEMAR）により金属アーチファクトを低減できるようになりました。

この装置は心臓の冠動脈CTで威力を発揮します。1回転速度が0.275秒と高速化したことにより、心拍数が75bpm以下であれば1心拍での撮影が可能です。これにより多くの患者さんを低被ばく線量で、アーチファクトの少ない高画質の撮影が可能となりました。また、これまで冠動脈CTが苦手としていた不整脈の患者さんに対しても、不整脈回避技術により検査不能例を減らすことができます。

当院では院外医療機関からのCT検査を受け付けております。ご依頼はすべて予約制で、FAX予約（窓口は医療連携室、048-965-2221（代表）内線：3135、3114）またはWebの「地域医療連携システム」で受け付けております。ご依頼の際に、検査部位や造影の有無をお伝えください。内容によっては放射線科担当医の判断で変更させて頂くこともございます。診療情報提供書に症状や疑われる疾患などの情報の記載をお願い致します。造影検査をご依頼

いただく際には必ず採血で血清クレアチニン値を測定していただき、添付または診療情報提供書に記載をお願い致します。なお、冠動脈CTについては検査前に循環器医師の診察が必要になりますので、循環器外来へご紹介いただきますようお願い致します。



放射線科 医長 堀田 昭博